

(資 料 配 付)

作成年月日	平成 28 年 6 月 21 日
作成部局	関西広域連合広域防災局 兵庫県防災企画局・災害対策局

平成 28 年熊本地震への対応

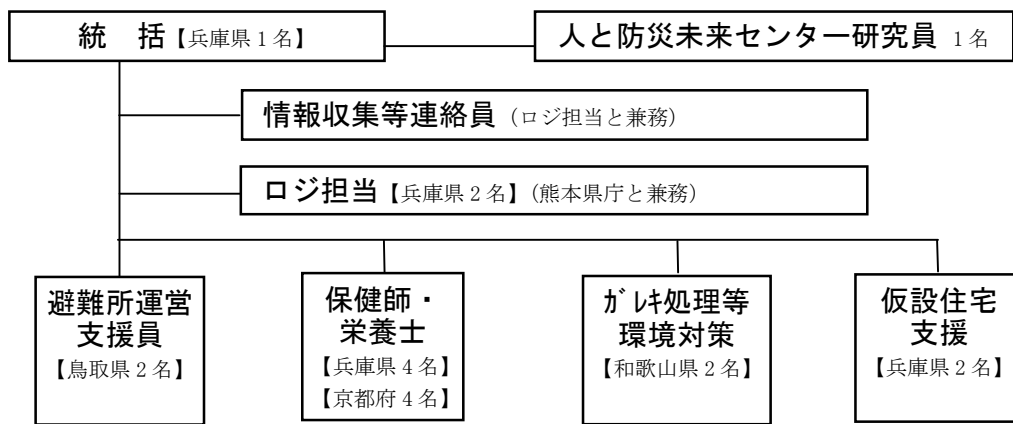
1 平成 28 年熊本地震における支援チーム(第 10 陣)の派遣

益城町に対し、支援チーム第 10 陣を派遣する。

(1) 派遣期間

6 月 22 日(水)～6 月 29 日(水)

(2) 派遣の体制



計 18 名(うち本県 10 名、関西広域連合構成府県 8 名)

(3) チーム派遣の終了

被災地では、応急対応期から復旧・復興期に移行しニーズが変化していること、町役場機能が回復してきたこと等から、益城町への支援チーム派遣は第 10 陣をもって終了する。

(4) 派遣終了後の対応

今後は、当分の間、防災部局(広域企画室)に連絡窓口を置き、熊本県及び益城町からの個別課題要請へ対応する。

- ① 避難所運営支援員 避難所運営は、自主運営(民間委託を含む)に移行予定。
- ② 保健師・栄養士 町内の全医療機関が再開したことから終了、仮設住宅の巡回については、厚労省からの要請に基づき引き続き実施。
- ③ がれき処理等環境対策 役場の体制が整備されるとともに、国から新たな P T が派遣されたことから、業務を国の P T に引き継ぐ。
- ④ 仮設住宅支援 仮設住宅の入居も始まり軌道に乗ったため、町の窓口で今後は対応。

2 避難所運営・窓口業務支援職員の派遣(6 月 29 日をもって終了)

応急仮設住宅・みなし仮設住宅等に係る相談業務や避難所運営を支援するため、益城町に職員を派遣。

派遣者数：6 月 15 日(水)～22 日(水) 4 名(相生市 2 名、赤穂市 2 名)

6 月 22 日(水)～29 日(水) 4 名(高砂市 2 名、小野市 2 名)

※ 関西広域全体で 44 名派遣。4 月 20 日から 1 週間単位で継続して実施。

3 家屋被害認定士の派遣（当面継続）

益城町での家屋被害認定第2次調査を支援するため、益城町の要請により、家屋被害認定士を派遣。

派遣者数：6月15日（水）～21日（火）2名（養父市2名）※ 関西広域全体で8名派遣

6月22日（水）～28日（火）10名（伊丹市2名、篠山市2名、宍粟市2名、たつの市2名、
太子町2名）※ 関西広域全体で14名派遣。

※ 以降、1週間単位で継続して実施。

4 熊本県仮設住宅専門チームへの職員派遣

熊本県内の仮設住宅の整備を支援するため、国土交通省の要請により、熊本県に職員を派遣。

派遣者数：建築職1名、電気職1名、機械職1名

派遣期間：6月11日（土）～6月24日（金）

6月24日（金）～7月8日（金）

5 避難者の受け入れ（6月17日現在）

被災者の広域避難受け入れのため、県営住宅100戸を用意。

・問い合わせ件数：47件（うち 申請書送付11件）

・受け入れ件数：2件（うち 入居中1件、退去1件(6/6)）

[参考]

○ 関西広域連合の体制

関西広域連合は、井戸連合長・知事を本部長とする災害対策支援本部を設置し、益城町、大津町、菊陽町を中心に支援を実施している。

平成28年熊本地震災害対策支援本部（4月20日（水）設置）

現地支援本部（熊本県庁、4月16日（土）設置）

益城町現地連絡所（4月20日（水）設置） 担当：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県
大津町現地連絡所（4月20日（水）設置） 担当：大阪府
菊陽町現地連絡所（4月21日（木）設置） 担当：奈良県

※京都市、大阪市、堺市、神戸市は指定都市市長会の調整で熊本市を支援

○ 対応状況

4月14日（木）21:26頃 前震発生

21:40 災害支援準備室設置（室長：広域防災参事）

23:00 先遣隊3名出発（隊長：広域企画室長）

4月16日（土）1:25頃 本震発生

2:00 災害支援室及び応援・受援調整室設置（室長：防災監）

6:00 現地支援本部設置

14:00 「熊本地震災害支援会議」開催

（構成団体防災監、危機管理監等出席）

4月20日（水）「平成28年熊本地震災害対策支援本部設置」

益城町現地連絡所設置

大津町現地連絡所設置

支援チーム（第1陣）を益城町に派遣

避難所運営要員の派遣を開始

4月21日（木）

菊陽町現地連絡所設置

4月27日（水） 家屋被害認定（1次調査）要員の派遣を開始
 6月02日（木） 菊陽町現地連絡所廃止
 6月15日（水） 家屋被害認定（2次調査）要員の派遣を開始

○ 現地支援本部への職員派遣状況 (6月20日現在)

府県名	現地支援本部 (熊本県庁)	益城町連絡所			大津町連絡所			計
		チーム 派遣	避難所・窓 口業務等	被害認 定要員	連絡 員等	窓口 業務等	被害認 定要員	
滋賀県			6人					6人
京都府		4人	8人					12人
大阪府					2人	4人	8人	14人
兵庫県	チーム統括及び ロジ担当が兼務	10人	4人	2人				16人
奈良県			6人					6人
和歌山県		2人	7人	2人				11人
徳島県			7人					7人
鳥取県		2人	4人	4人				10人
合計		18人	42人	8人	2人	4人	8人	82人

※市町職員を含む(派遣先計：益城町68人、大津町14人)

○ 支援チームの過去の派遣状況

区分	派遣日	内容
先遣隊	4/14(木)～4/20(水)	・現地情報収集のため、兵庫県職員を先遣隊として派遣(3名)。 ※4/14(木) 23:00 出発
第1陣	4/20(水)～4/27(水)	・経験者を中心に兵庫県職員を派遣(21名)。
第2陣	4/27(水)～5/04(水)	・関西広域連合の支援チームとして分野別に各構成団体で担当を定め派遣。 ・新たに「仮設住宅支援」チームを設置。
第3陣	5/04(水)～5/11(水)	・食事面での健康対策を強化するため、「保健師」チームを「保健師・栄養士」チームに改編。 ・学校再開に伴い「教育支援員」チームの派遣を中断
第4陣	5/11(水)～5/18(水)	・避難中の要介護者、在宅高齢者等への対応を進めるため、「保健・医療・福祉専門員」チームに京都府から保健師等を追加派遣。
第5陣	5/18(水)～5/25(水)	・学校再開後の応急教育や心のケア、避難所と学校教育の円滑な運営について助言・支援を行うため、「教育支援員」チームの派遣を再開。
第6陣	5/25(水)～6/01(水)	・引き続き支援チームの派遣を実施
第7陣	6/01(水)～6/08(水)	
第8陣	6/08(水)～6/15(水)	・災害対策本部会議について、県が週1回、町が週3回に変更されたこと等に伴い、情報収集連絡員等をロジ担当に兼務させるとともに、ロジ担当を1名減。
第9陣	6/15(水)～6/22(水)	・現地での業務執行体制が徐々に回復してきたことから、ボランティア統括コーディネーター、保健・医療・福祉連絡員の派遣を終了。

[参考] 東日本大震災・現地支援本部への派遣

宮城県庁現地支援本部 H23.3.14～9.30(201日間) 第1次～第38次
 北部沿岸3市町現地支援本部 H23.3.23～10.28(220日間) 第1次～第32次

平成28年熊本地震被災地支援関連事業等実施予定(平成28年6月～平成28年8月)

(平成28年6月20日現在)

No	行事名・事業名	日時等	場所	内容	主催者	対象者等	備考
1	災害救援ボランティアによる支援	6/14～ 6/25	益城町および熊本市周辺	ボランティアバスを派遣し、被災地での支援活動を実施する。 [第5回] 第5回派遣では、県立舞子高校環境防災科の生徒が、学年ごとに現地3～4日のボランティア活動を実施する。	兵庫県立舞子高校 ひょうごボランティアプラザ	一般県民、団体等	【ひょうごボランティアプラザ】 078-360-8845 【県民生活課】 078-362-3996
2	「熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクト」の実施	7月以降 (予定)	熊本地震の被災地	ふるさとひょうご寄付金を活用して、ひょうごの若者が継続して被災地を応援する事業を支援する。	ひょうごボランティアプラザ	県内在住、在学、在勤の若者(15歳以上(中学生を除く)35歳未満)等5人以上で構成される団体・グループ	【ひょうごボランティアプラザ】 078-360-8845 【県民生活課】 078-362-3996
3	熊本地震復興サポート事業による被災地への支援活動	6/21～ 6/23	益城町、御船町、熊本市	子どもたちが力を合わせて巨大壁画を作成する「命の一本桜プロジェクト」の実施により、子どもたちのこころのケアを図る。	アトリエ太陽の子・ボランティア部門	地元児童生徒	【復興支援課】 078-362-9832
4	「熊本地震復興サポート事業」の募集	募集期間 5/9～	熊本地震の被災地(熊本県内全域)	阪神・淡路大震災等の自然災害において支援活動経験のある団体等を復興サポーターとして熊本地震の被災地へ派遣することで、被災地の早期復興を支援する。	兵庫県	自然災害の被災地等で復興に向けた支援活動経験がある団体等	【復興支援課】 078-362-9832